

第25回(令和元年度第2回)セーフコミュニティ高齢者の安全対策委員会 会議要旨

日時	令和元年11月25日(月) 14:00~15:00
場所	久留米市庁舎14階会議室
出席者	委員：濱本委員、近藤委員、漆原委員、桑島委員、木下委員、守永委員、有川委員、赤裏委員、柴尾委員、川崎委員、吉塚委員、野口委員 事務局：(安全安心推進課) 岡主査、浦部 (長寿支援課) 合戸補佐、山田
欠席者	城戸委員
傍聴者	なし
議事次第	1 開会 2 委員長、副委員長の選出 3 報告事項 (1) セーフコミュニティの今後の基本方針について 4 協議事項 (1) 高齢者の転倒予防パンフレットの見直し(案)について 5 その他 6 閉会
議 事	
1 開会	(資料確認) (委員・事務局自己紹介)
2 委員長、副委員長の選出	(互選により、委員長に濱本委員、副委員長に近藤委員を選出) (濱本委員長挨拶)
3 報告事項 <委員長>	次第に従いまして進めます。「次第3報告事項」でございます。事務局から「セーフコミュニティの今後の基本方針について」、よろしくお願ひします。 (事務局説明)
 <委員長>	委員の皆さんから何かご質問などございますか。 (質疑なし)
 <委員長>	よろしいですか。そしたら次に進めます。続きまして「4 協議事項」に移ります。「高齢者の転倒予防パンフレットの見直し(案)について」、事務局からよろしくお願ひします。 (事務局説明)
 <委員長>	パンフレットの見直しについて、説明を受けたところですが、委員の皆様から何か、ご意見やアドバイスなどございませんか。
 <委員>	転倒した場所について、平成26年が38.3%なのが、平成29年には53.8%と大幅に増えている。最近とにかく自宅での転倒が多いということを伝えるべきではないか。

<p><事務局></p>	<p>強調した方がいいというご意見でしょうか。</p>
<p><委員></p>	<p>はい。急激に増え、最近転倒が多いということをお知らせしていただきたいです。</p>
<p><委員長></p>	<p>古いチラシは26年のデータで、転倒の全体のけがに対する転倒の割合が60.4%でした。新しいチラシをみると、29年のデータで、高齢者のけがの51.9%が転倒ということで、転倒自体の割合は確かに下がっているというのがひとつです。ただ、おっしゃられたように、どこで転倒したのかを見ていくと、自宅のパーセンテージが上がっているということです。なので、自宅で転倒したパーセンテージが多いことを強調した方がいいというご提案ですか。</p>
<p><委員></p>	<p>そうです。</p>
<p><委員長></p>	<p>確かに、この青の太文字だけではちょっとわかりづらいかもしれません。自宅の53.8%を強調するか、26年度で38.3%だったのが53.8%になったことがわかるように、工夫できませんか。</p>
<p><事務局></p>	<p>わかりました。貴重なご意見ありがとうございます。自宅が特に危険だということが分かるような形で修正させていただきます。</p>
<p><委員></p>	<p>パーセントというのは調べているわけですよね。どういう風にして調べているのですか。私も転倒しましたが全然そういう調査を聞いてはいないので。</p>
<p><事務局></p>	<p>平成29年度に、久留米市民の事故やけがなどについてのアンケートの形で実態調査を行い、その中で回答として返ってきた部分ものになります。ですので、実際、市民の皆様で転倒されたよってという方は、アンケートの結果でも、実際のところでもたくさんいらっしゃるということが、実感としてもあると感じております。そういった意味でも、転倒予防に心がけてもらう啓発の手段として、今回ご提案しているチラシを、様々な場面で活用していきたいと考えています。</p>
<p><委員></p>	<p>公民館やコミュニティセンターで、リハビリ事業でいろいろ指導等をさせていただいています。その際に、結構このチラシを使って話すことがあります。新旧二つを見比べて、文字が淡いというか、見づらいです。古い方がはっきりしています。白抜きがなかなか見えないとか、文字が小さいとかで、宿題としてお渡ししても「見えんかった」とか言われたりすることもあります。</p>
<p><委員長></p>	<p>白内障の方には、白抜き文字の方が見えやすかったりもするようですが。</p>
<p><事務局></p>	<p>淡いというのは、具体的にどこあたりですか。</p>
<p><委員></p>	<p>字はちょっと小さいかなど。全体としてはっきりしないというか、ぼやけた感じ。浴室の絵も古い方がわかりやすいです。</p>
<p><事務局></p>	<p>どの部分の絵ですか。</p>
<p><委員></p>	<p>全体的に淡く見える。強調するところははっきりした方がいいのではないですか。</p>
<p><事務局></p>	<p>ご高齢の方に見ていただくものなので、字が見えないとまず中身が伝わらない</p>

	<p>のはおっしゃる通りだと思いますので、見直しを行いたいと思います。</p>
<委員>	<p>色味に関連して、男性の服装が青っぽいように見えるので、ジェンダーへの配慮が必要ではないでしょうか。</p>
<委員長>	<p>ありがとうございます。そのほかで何かお気づきの点とか、ここをこうの方がいいとかございましたら是非。</p>
<委員>	<p>包括ですが、事前に保健職に意見をもらってきましたが、やはり高齢者が見るには字が多いと見にくい。転ばない体づくりについては、情報量が少し多いのではないかということでした。文字を少し減らして、内容を凝縮したらどうかという意見がありました。</p>
<委員長>	<p>写真や絵を大きくするということですか。</p>
<委員>	<p>そうですね。字面を大きくした方が、真似をしようかっていう気になるのではという意見も出ていました。</p>
<委員長>	<p>いかがでしょう。今の意見を踏まえた変更は可能ですか。</p>
<事務局>	<p>変更は可能です。</p>
<委員長>	<p>そしたら、文字を少し抑えてやるべきことを記載する。写真だけで大丈夫ですか。</p>
<委員>	<p>そうですね。何故こういうことが必要なのかを書いてありますが、そういう部分は削って、具体的にやることだけ残して、イラストや写真を大きくすると、高齢者の方も自発的にやられるのではないかという意見でした。</p>
<委員長>	<p>わかりました。調整をお願いします。</p>
<委員長>	<p>以前のパンフレットの「転ばない住環境づくり」のところに、お風呂がついていたのは、転倒の事故で、しかし、高齢者の事故でお風呂での溺死が多いです。なので、加えた方がいいという経過がございます。その中で、あまり情報量が多いと読む方に負担があるということで、基本はこの線でさせていただいて、先ほどご指摘を受けた点につきまして、今後検討してということがひとつです。あと、これはいつまでに仕上げる、変更が可能なのはいつまでとかはあるのですか。</p>
<事務局>	<p>特にこれといった期限というものはありません。しかし、お風呂に関する啓発も含めておりますので、今から寒くなる時期になってくるので、ある程度の時期には製本して、関係各所に気を付けてくださいということでお配りをできたらと考えております。</p>
<委員長>	<p>それだと、これをいかに配布するか、周知していくかっていうことも一つの課題ですね。皆さんから何かご意見とか、こういったところで活用できるとか、配布できるとかいう意見がございましたら、この場でも出してもらえませんか。</p>
<委員>	<p>市と行っている地域事業などにおいて、パンフレットを配って、考えたり、話をしています。また、事業者協議会もありますので、月1回の理事会の時にご説明いただいてから、各理事たちに、これを所属団体に配布して欲しいということ依頼をすれば、事業所にも届くと思います。</p>

<p><事務局></p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p><委員></p>	<p>これ、広報くるめと一緒に、全戸配布することは考えてないのですか。</p>
<p><事務局></p>	<p>今のところ全戸配布までは考えていませんが、民生委員児童委員や、まちづくりの役員には配りたいと思っています。あと、こちらが高齢者の方向けになりますので全戸まで配布するのがいいのかは検討が必要だと考えております。但し、多くの方に知ってもらいたいとは思っていますので、来年度以降、どこまで配るのかについては、また考えさせてもらいたいと思います。</p>
<p><委員></p>	<p>たとえば講習会の時などに持参して、こういうものですよということが、今までのやり方ですね。予算の関係もあるからあんまり無理も言えませんが、やっぱりこれは一番大事なことから、全戸配布くらいはどうなのかなあとと思います。</p>
<p><事務局></p>	<p>配布には委託料が必要で、予算を確保するのが非常に厳しい状況、また高齢者がいる世帯といない世帯で反応もそれぞれ。なんで全戸に配布するのかというご意見もあるのかなと思っていますので、検討させてもらいたいと思います。一番の思いとしてはやっぱり高齢者の方にピンポイントにできる方法、特に在宅の方にできる方法がないのかと思います。事業者協議会等で、たとえばデイや、ケアマネに話しして、直接高齢者と接触される方にお配りして、経由してお渡しできるような方法とかも考えていきたいと思っています。社協にもご協力をお願いする部分もあるかなと思っています。</p>
<p><委員></p>	<p>包括でも高齢者の介護予防のいろんな取組みをやっている中で、ちょうどこの時期に介護予防サポーター養成講座っていうのを各圏域でやっています。もし間に合えば、一緒に配布することができるのですが、今年間に合わなければまた来年度、講座の時に高齢者の方にお渡しするというのもあると思います。</p>
<p><委員></p>	<p>民生委員とか、ふれあいの会とか、校区社協にも渡して欲しいと思います。</p>
<p><委員></p>	<p>そうですね。社協でいうなら校区社協とか、あるいは校区の民生委員児童委員の定例会は毎月あつているので、その中に担当職員がそれぞれの校区にお邪魔をしておりますので、その時にお持ちするとかがあるのではないのでしょうか。</p>
<p><事務局></p>	<p>了解しました。12月からお風呂の事故も増えてくるので、現実的に中身は大きくは変わっていないので、今のパンフレットでも配っていただければ非常にありがたいですし、注意喚起なので、新しいパンフレットを待たなくてもいいのかなと思いますので、いろいろ、今でもご協力をお願いしたいと思っています。</p>
<p><委員長></p>	<p>サポーター養成講座で、今の古いパンフレットの在庫はありますか。</p>
<p><事務局></p>	<p>カラーコピーですぐ出力できます。</p>
<p><委員長></p>	<p>是非よろしくお願ひいたします。ありがとうございます。また福岡県作業療法協会で、おたっしや出張講座の講師とかをやっているところもありますので、積極的に持って行って話をしていきたいと思っています。</p>
<p><委員></p>	<p>逆戻りと思いますが、やはり骨が弱くなっているから骨折するわけですね。骨</p>

	<p>を強くするためには、牛乳飲みましょうとか、魚を食べましょうとか、病院でも薬がありますよね。それを飲みましょうというのは言えないと思います。すべての人ではないけれど、一環として、そういうことも予防にはならないのか。転ばないのが予防だから。何かそのあたりを簡単に記載できないかと思いますがいかがでしょうか。</p>
<委員>	<p>一番裏の転ばない体づくりって枠があるからですね。体操もそうだけど、骨に強くなるようなものを食べようという文言があっても、体づくりという意味ではいいのかなってという感じがします。</p>
<委員>	<p>高齢者、高齢者って言いますが、この対策委員会にも高齢者は何人しかいない。中心は高齢者なのだから、高齢者を対策委員会にきちっと出すべきだと思います。そういうことを中心に、若い人が委員として言っているよりも、効果があると思います。本当のところきちんと聞くべきではないでしょうか。</p>
<委員長>	<p>栄養管理とかそういったところですね。</p>
<委員>	<p>どこか簡単に入れられたら、と思いますが。</p>
<委員長>	<p>そのところも検討とは思いますが、準備がかなり進んでいますよね。そうするともう間に合わない。また次回の見直しの際でも結構だと思います。</p>
<委員>	<p>でも、なるときはなるんですよ。年齢を重ねて色々あちこち老いてくるとね。じゃあそのときにどうするかっていう。</p>
<委員長>	<p>検討した時に、いろんな情報があり、必要なんですよね。骨折しないために、骨を強くしましょうとか、栄養管理とか、睡眠とかね、生活習慣病予防とかね、それも含めてなんでしょうけど、なかなか情報量がたくさんになると今度はかえってポイントがぼけてしまったりとか、わからなくなってしまうところがある。こういった情報を載せていくのかについて、早急に検討できそうですか。紙面的なこととかもあるからですね。</p> <p>今回はこれで少し進めさせていただいて、あと、そこに栄養管理とかそういった情報を載せる、載せるとしたらこんなことで載せていくよっていうようなことを検討していくという風な方向性で考えてよろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p>
<委員>	<p>それでは、とりあえずこれで進めて、今後、この掲載内容についてさらに深めていくということでもよろしいでしょうか。</p>
<事務局>	<p>ありがとうございます。</p>
<委員>	<p>他、ございますか。</p> <p>(質疑なし)</p>
<委員長>	<p>おかげさまでかなり出来てきました。ではこの高齢者の転倒予防パンフレットの見直しについては、以上とするところでもよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>

5 その他	<p>ありがとうございます。 それでは次の議題に移ります。「4 その他」ですが、何か懸案事項とかございますか。</p>
<事務局>	<p>事務局より今後のスケジュールについてご説明をさせていただきます。まず、対策委員会ですが、今年度末、もしくは来年度早々に、今年度の取組実績と、来年度の取組方針をご協議いただきたいと思いますと考えております。また、来年度の夏ごろに予定しております実態調査の進め方について、これまで3年に1回行ってきましたが、セーフコミュニティの認証が5年に1回というところで、実態調査も5年に1回を予定しているという点、またどういう形で聞き取りをしていくのか、このあたりを次回の対策委員会の中でご協議いただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
<委員長>	<p>ありがとうございます。今後のスケジュールについて説明がございました。何か質問などありますか。今後はそういうところで進めていくことで、またご協力よろしく願いいたします。そのほか、ございますか。</p>
<委員>	<p>いろんな高齢者から相談とかありますか。資料としてまとめているのですか。</p>
<事務局>	<p>まとめるといえますと。</p>
<委員>	<p>こういう相談が多いとか。どういう対応をしてらっしゃるのかなと思って。</p>
<事務局>	<p>それは久留米市の長寿支援課として、様々な市民の方からのお尋ねとか相談の記録を整理しているのかということですか。</p>
<委員>	<p>高齢者の問題を今協議していますよね。高齢者からいろんな問題が出てくると思うのですが、そういうのをちゃんと市はどのような風に受け止めているのかなと思ってでした。</p>
<事務局>	<p>どういった相談を受け、対応をできるのかということは、市と包括支援センターが連携しながら整理をしております。</p>
<委員>	<p>久留米市でどういう相談が多いのか、ちょっと知りたいなと思ったので。</p>
<事務局>	<p>わかりました。個別でも結構ですので、またご準備してご説明させていただければと思います。</p>
<委員長>	<p>ありがとうございます。他にございませんか。なければ事務局にお返しします。</p>
6 閉会	
<事務局>	